

交差するクリエイティブ・パワー

「世界から地方へ、地方から世界へ」

仙台市とその隣接する地域では、映像メディア、現代アート、建築、デザインなどのクリエイティブな活動を軸に街を再生させようという動きが始まっています。この胎動を今後さらに発展させていくためには、都市の中に埋もれている有用な人材を発掘し育成していくことが重要であると同時に、国際的なネットワークとつながり、情報やノウハウを共有しつつ、人と人との交流や対話を重ねることが必要となってきます。

そこで、今回、宮城県美術館で occur2009 「仙台発 21 世紀サウンド&デザイン」「交差 The moment a vector crosses.」が開催される機会に、英国マンチェスター市で 1996 年以来開催されている、アート・アイデア・音楽を組み合わせた都市型複合フェスティバル「フューチャーソニック」の創設者・ディレクターとして、又アーティストとしても国際的に活躍しているドリュー・ヘメントさん、国内からはこの分野で活躍している NHK 解説委員中谷日出さん、金沢 21 世紀美術館キュレーターの鷲田めるるさん、logue メンバーの小川直人さんを迎え、クリエイティブな街づくりについて考えるフォーラム「交差するクリエイティブ・パワー」を下記の概要で開催します。

Crossing Creative Powers - Local to Global, Global to Local -

Currently, exciting art projects and festivals in the field of contemporary art, media art, architecture and design are proceeding in Sendai City and its neighboring areas, located in Northern Part of Japan, to build an international platform and network.

This trend implies that Sendai City has started to raise the standard of its creative economy by rediscovering creative talents and cultural resources in the city. Sendai City has established the Sendai Creative Cluster Consortium to create new opportunities to collaborate, gather people, and provide support by linking with various international platforms.

Although Sendai City is also well-known as an academic city and a hub city in the Tohoku Region in terms of finance, economics, knowledge, and arts, it still needs various incentives to develop local creative talents, international networks with various art organizations and links with other cities in the world to foster further its creative economy.

As an organization to encourage various cultural exchanges in the world, the Japan Foundation is encouraging will hold an international symposium in collaboration with Sendai City to discuss how to foster and utilize the hidden creative talents and resources in the regional cities, to build international networks, and to promote cultural exchanges in the creative sector.

This symposium accompanies the exhibition entitled "occur 2009, from Sendai for Sound and Design in the 21st century".

■パネリスト ※敬称略 (50 音順)

小川直人 logue メンバー
ドリュー・ヘメント

フューチャーソニックディレクター / CEO (英国)
<http://www.futuresonic.com/>



中谷日出 NHK 解説委員

鷲田めるる 金沢 21 世紀美術館キュレーター

■モデレーター

本江正茂 東北大学大学院准教授
(都市・建築デザイン、IT コミュニケーションデザイン)

※パネリスト等のプロフィール/申込みについては裏面をご参照ください。

■開催概要

2009年3月22日(日)

14:20~17:00 (開場 13:30)

宮城県美術館 講堂 (仙台市青葉区)

14:00 から 2 階展示室で antennasia のライブを開催

入場料：無料

定員：100名

主催：国際交流基金 JAPAN FOUNDATION 仙台市 宮城県美術館

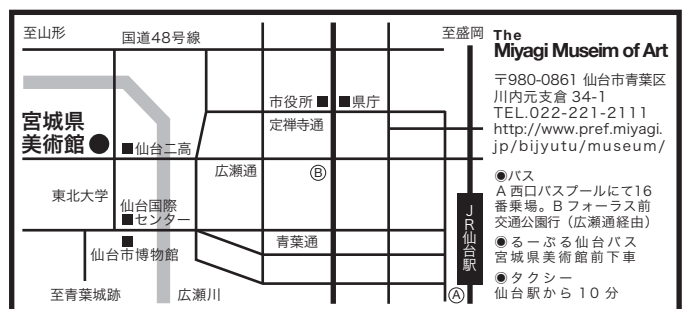
協力：プリティッシュ・カウンシル

(後援) クリエイティブ関連都市型フェスティバル調査研究会 (FesLab)



■プログラム (予定)

- 13:30 開場 ※antennasiaライブ (14:00から 2 階展示室にて)
- 14:20 開会/主催者挨拶
- 14:25 「フューチャーソニック」プレゼンテーション (ドリュー・ヘメント) ※日英語逐次通訳あり
- 15:05 FesLab プレゼンテーション (柿崎慎也)
- 15:15 休憩
- 15:25 パネル・ディスカッション
- 17:00 閉会



■プレゼンテーション

ドリュー・ヘメント フューチャーソニック / フューチャーエブリシング ディレクター / CEO

英国マンチェスターで1996年から開催されている音楽、アート、アイデアの都市型フェスティバルとして世界的にも定評のある「フューチャーソニック」の創始者。科学技術、アート、知財など領域を超え未来の社会への貢献を模索する実験的な研究所として知られるランカスター大学附属 Imagination Lancaster の副ディレクターを務める。アーティストとしても活躍しており、ロケイティブ (Locative) メディアを用いた独特の空間表現で知られている。代表的な作品として携帯機器と監視システムを題材とする「Loca」があるが、これはデータシステム可変的な関係性の検証を行う、アーティスト主導の先駆的なプロジェクトとしても知られている。現代社会に偏在するコンピューター、GPSなどの通信メディアの研究を目的とした、アーティストと科学者のグループ Pervasive and Locative Art Network の創始者でもある。

柿崎慎也 FesLab 代表 / 東北大学大学院経済学研究科産学官連携研究員

1971年秋田県生まれ。文部科学省「産学連携による実践型人材育成産業」プロジェクト・ディレクター。リクルート、Appleを経て現職。その他、「occur2009: 仙台発 21世紀サウンド&デザイン」など音楽とビジュアル・デザインを中心としたイベントのプロデュースも手がける。

■パネル・ディスカッション

パネリスト (50音順)

小川直人 「logue: ログ」メンバー

1975年生まれ。2007年より仙台在住のメンバーとともに、クリエイティブな仕事のあり方と、仙台においてそれが持続し循環するための人やコミュニティ、出来事についてインタビューを通じて考えるプロジェクト「logue (ログ)」を行っている。また、せんだいメディアテークで主に映像文化に関する企画を手がけ、「ペドロ・コスタ 世界へのまなざし」「Saccadic Suppression」など上映/映像インスタレーションや、講演、ワークショップ、学校教育での映像表現の活用などに関わる。

Drew Hemment Futuresonic & Future Everything CIC Director&CEO

前出

中谷日出 NHK 解説委員 (芸術文化、デジタル関連担当)

1955年神奈川県生まれ。東京芸術大学大学院 美術研究科修了。広告プランニング、広告映像アートディレクターとしてフリーで活動後、1989年NHK入局。1994年MIT (マサチューセッツ工科大学) メディアラボへ派遣。1999年6月より解説委員として活躍。これまで、NHKスペシャル「人体・脳と心」のアートディレクション、ハイビジョンロゴマークデザイン、BSプロモーション (BSぜんぶやる) 映像監督、ハイビジョンドラマ「DREAM TV 200X」監督を務めるなど、CGやアート分野で活躍するアーティストでもあり、3つの卵が並ぶNHKのロゴマークを作った張本人でもある。通産省「マルチメディアグランプリ審査委員」、Gマーク (グッドデザイン賞・選定委員)、JAVA大賞審査委員、日本グラフィックデザイナー協会情報化委員なども務める。

鷺田めるろ 金沢 21世紀美術館キュレーター

1973年生まれ。これまで手がけた展覧会として「妹島和世+西沢立衛 / SANAA」「人間は自由なんだから」「アトリエ・ワン: いきいきプロジェクト in 金沢」「金沢アートプラットフォーム 2008」などがある。都市 / 建築 / 美術を横断する開かれた場をつくることを目指し、金沢在住の若手美術・建築関係者によって、2007年結成されたグループCAAKのメンバーでもある。

モデレーター

本江正茂 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授

1966年富山県生まれ。建築家、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授。システムデザイン作品に「MEGAHOUSE」、「東京大学基盤情報学専攻 PAO ROOM」、「時空間ボエマー」(04年グッドデザイン賞新領域デザイン部門)、「見知らぬカゾク」、「Context Aware Messaging Service」など。著書に『プロジェクトブック』(彰国社、共著 2005)、『Office Urbanism』(新建築、共著 2003)、『パーチャル・アーキテクチャー』(東京大学総合研究博物館、共著、1997)など。情報技術が拓く都市と建築の新しい使い方について研究中。

※敬称略

申込みフォーム

参加ご希望の方は、下記に必要な事項を記入の上、FAXでお申し込み下さい。

FAX 送付先: **022-267-6292** 仙台市経済局産業振興課 熊谷 宛

| | |
|---------------------|-------------------|
| フリガナ | 住 所 (Address) : 〒 |
| 氏 名 (Name) | |
| 所属 (Organization) : | E-mail : |
| TEL : | FAX : |

ご提供いただいた住所や E-mail アドレスなどに、事務連絡の他、主催団体から、各種ご案内 (刊行物、展示会、セミナー等) やアンケートをご案内させていただく場合がございます。また、主催団体では、本応募用紙で収集した情報は、法令に基づく開示請求があった場合、本人の同意があった場合、その他特別の理由がある場合を除き、第三者に提供いたしません。